

報道関係各位

《ご取材のご案内》

2015年5月吉日
学校法人成城学園

～知識ゼロの文系学生がスマホで動くオリジナルプログラムに挑戦！～

文系大学生へ向けた

日本アイ・ビー・エム提供

「ビッグデータ」活用の講義を《公開》！

◆日時：2015年5月22日(金)・29日(金)13:00～(報道受付12:50～)

成城大学(東京都世田谷区 学長:油井 雄二)は、2015年度前期科目として、日本アイ・ビー・エム提供によるビッグデータの活用に関する講義「データサイエンス概論～人間とコンピューターの新たな関係を築くビッグデータの活用～」を開講しています。

本学は理系学部を持たない文系大学ですが、本講義を通して、ビッグデータの利用技術や適用技術を広範囲に学び、それらの利点や問題点を理解して初歩のデータサイエンス知識を身に付けることで、文系の視点で科学を考えられる人材、あるいは科学的視点で文系の専門分野を考えられる人材の育成を目指しています。



文系大学生に向けた日本IBM提供の「ビッグデータ」活用講義を公開！

今回、公開する講義では、IBMのオープン・スタンダードとクラウドをベースとしたプラットフォームである「ブルーミックス」を使って、コンピューター言語を知らない文系の学生が、スマホ上で動くオリジナルプログラムを作成する内容となっています。

コンピューターの知識をほとんど持っていない「文系学生の発想によるプログラミング」がどのようなものになるのかということは、実験的ではありますが、文系大学での日本アイ・ビー・エム提供の「ビッグデータ」活用講義として非常に興味深い事例になると思います。この機会に是非、講義をご参観いただき、ご取材いただければ幸いです。

【記】

日 程：2015年5月22日(金) / 5月29日(金) 13:00 (報道受付：12:50～)

※3限(13:00～14:30) 4限(14:40～16:10)の授業となります。

会 場：成城大学(東京都世田谷区成城6-1-20)8号館3階

講 義：「データサイエンス概論～人間とコンピューターの新たな関係を築くビッグデータの活用～」 第7回、8回講義

※誠に恐縮ですが、次頁のFAX返信用紙にて、5月20日(水)までに出席の旨をお知らせ頂ければ幸いです。

【「データサイエンス概論～人間とコンピューターの新たな関係を築くビッグデータの活用～」】

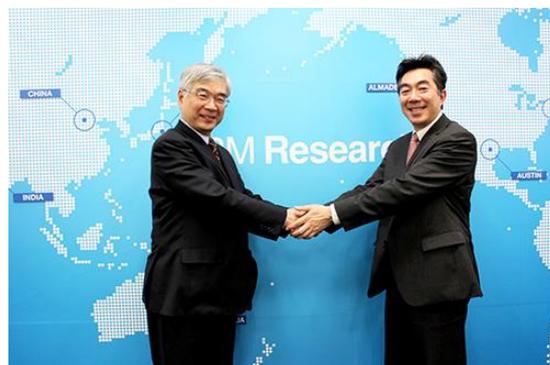
成城大生全学部全学年を受講対象とした全 15 回の前期開講科目で、毎回 IBM の方が交代で講師を務め（オムニバス形式）、ビッグデータに関する様々な技術や適用事例を紹介していきます。予定されている内容は次のとおりです。

- ・ 社会やビジネスを大きく変える第 3 世代のコンピューティング
- ・ アニメと第 3 世代のコンピューティングのいい関係 !?
- ・ 画像処理技術の展望と第 3 世代のコンピューティング
- ・ 言葉を扱う技術（自然言語処理）とビッグデータの接点
- ・ お客様の音声をビジネスに生かす音声認識 — 音声ビッグデータの活用の広がり
- ・ ビッグデータのための基盤ソフトウェア技術
- ・ ソーシャル・メディア分析最前線—センサーとしての役割を果たすソーシャル・メディアとその分析技術
- ・ 震災時におけるソーシャル・ネットワークの効果と脅威 — 評判・風評分析の重要性
- ・ 新しいクラウドによるアプリケーション作成体験
- ・ 社会インフラ（金融・交通など）のシステムを支え続けるメインフレーム
- ・ 医療技術支援のためのビッグデータの活用

（順不同）

【学校法人成城学園と日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所が締結した協定】

学校法人成城学園と日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所（「IBM 東京基礎研究所」）は、情報技術革命を背景としてグローバル化が進展するなかで、“国際社会で活躍できる地球市民”の人材育成およびそれに関する ICT（Information and Communication Technology（情報通信技術））分野などにおける研究・技術の向上に資することを目的として、平成 26 年 3 月 12 日（水）に、組織間の提携と協力の推進に関する包括的な協定を締結いたしました。



協定締結式の様子（2014 年 3 月 12 日）。
油井雄二学園長・学長（左）と
IBM 東京基礎研究所の森本典繁所長（右）。